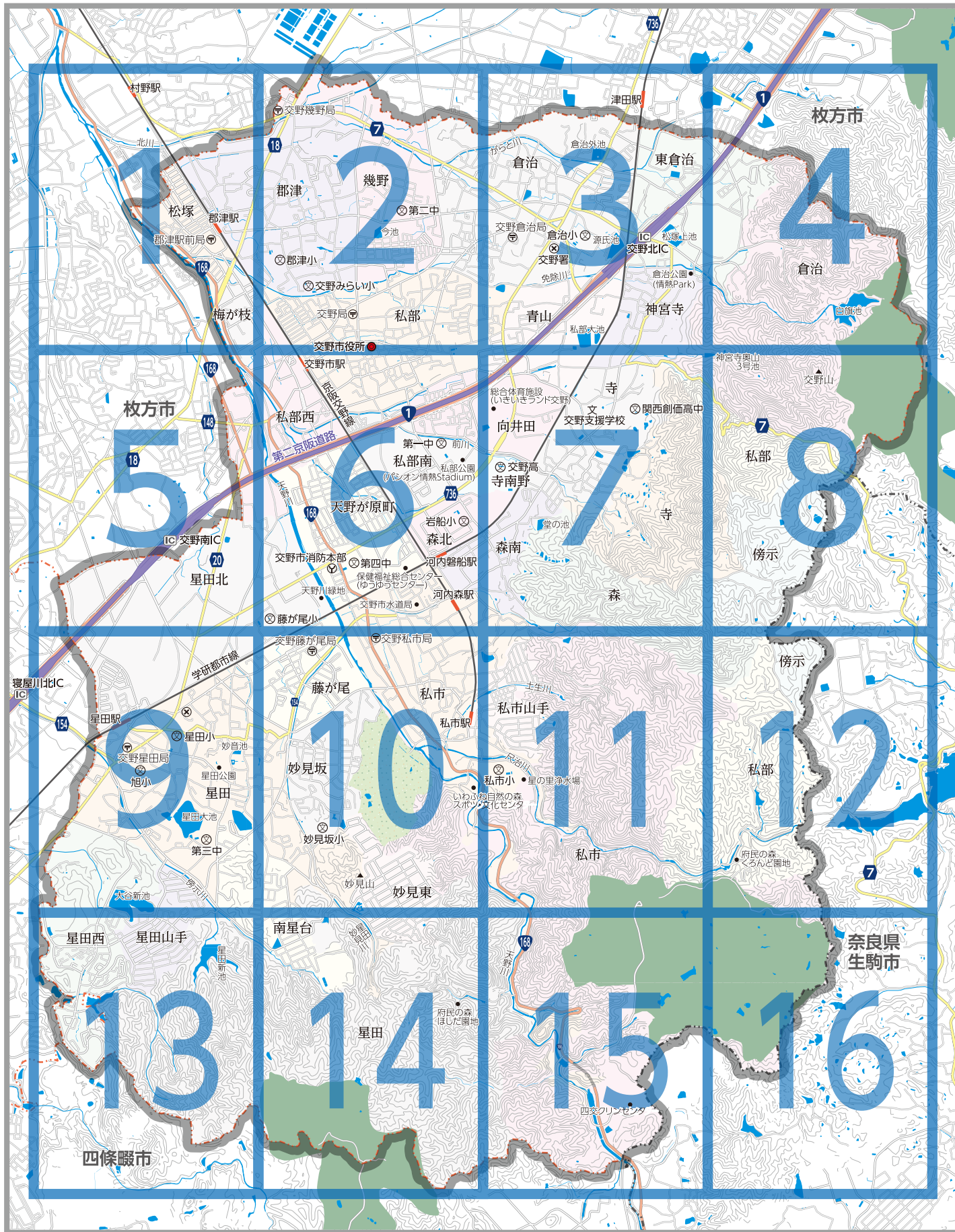


ハザードマップ 区割り図

0 500 1000m 1/31,000



洪水 ハザードマップ 凡例

浸水した場合に想定される水深		家屋倒壊等 氾濫想定区域
…5.0m~10.0m未満	…0.5m~1.0m未満	
…3.0m~5.0m未満	…0.5未満	
…1.0m~3.0m未満		

※洪水ハザード情報は、天野川(24時間総雨量1038mm、1時間最大雨量115.0mm)、北川(24時間総雨量1150mm、1時間最大雨量144.0mm)、前川(24時間総雨量1150mm、1時間最大雨量146.0mm)、穂谷川(24時間総雨量1150mm、1時間最大雨量140.0mm)、たち川(24時間総雨量683mm、1時間最大雨量138.1mm)の想定結果を示しています(令和2年3月淀川水系淀川左岸ブロック洪水浸水想定区域図および令和3年12月淀川水系裏屋川(桜木水門上流区間)ほか洪水浸水想定区域図 大阪府作成。) 降雨条件は、各河川流域の前提となる最大規模の降雨量を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していません。

●洪水浸水想定区域とは

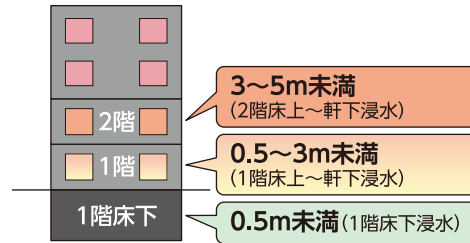
洪水により相当な被害が生ずる恐れがある「水位周知河川」等において、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、洪水が発生した場合に浸水が想定される区域を指定したもので、併せて水深等を公表するものです。

これは水防法第14条に基づき作成されたものになります。

洪水浸水想定区域図の内容例

【浸水深(想定最大規模降雨)】

府内の水位周知河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

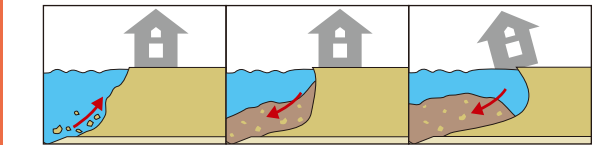


【家屋倒壊等氾濫想定区域】

府内の水位周知河川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域

河岸侵食 立退き避難が必要な区域

河岸の侵食幅を予測したものを表示した図面です。



激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られること

内水 ハザードマップ 凡例

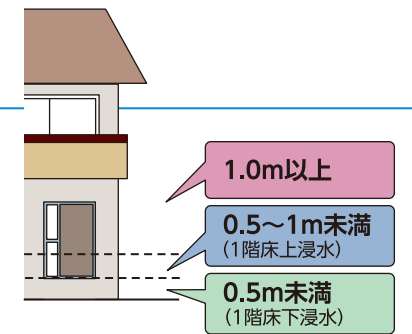
浸水した場合に想定される水深	
…1.0m以上	…0.5m~1.0m未満
…0.5m未満	…0.5m未満

※内水ハザード情報は、既往最大降雨(2012年8月14日に妙見東雨量観測所で観測された、推定時間最大雨量123mmの降雨)が市内全域に降った場合の想定結果を示しています。(平成31年3月 交野市作成)

●内水浸水想定区域とは

既往最大級の降雨に対する内水による浸水が想定される区域を指定したもので、併せて水深等を公表するものです。

交野市では、水防法第14条の2に基づく雨水出水浸水想定区域は未指定です。



土砂災害 ハザードマップ 凡例

土砂災害	
	…土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
	…土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

※土砂災害のハザード情報は、令和3年12月現在のものです。(大阪府作成)

●土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害防止法に基づき指定された、土砂災害のおそれのある区域です。この区域内に対して、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等が求められます。

■土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

■土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

上記の区域に指定されていない場所であっても、洪水、内水、土砂災害の被害が発生する場合や、想定される被害の程度が実際の被害の程度と異なる場合があります。